

バルーンカテーテルを外そう

～トイレで排尿したい～

やさしさの中で笑顔が咲き揃う



社会福祉法人 東桜会
特別養護老人ホーム 麻機園

あさはたえんとは？



- ・ 静岡市葵区麻機地区。近隣には麻機遊水池があり、自然豊かな環境です。
- ・ 園内には四季折々の花が植えられ、春には麻機園のシンボル「桜」が満開になります。



取り組んだ課題

平成15年からバルーンカテーテルを留置している入所者が、今年になり自己抜去を繰り返すようになった。

なぜ抜くの？

と思ったことがきっかけでした



バルーンカテーテルは抜けないのか？

トイレで排尿はできないのか？



本人、家族、医師、看護職、介護職が協働し、一番いい方法は何かを考えた



Hさんの様子

- ・ 平成18年 3月入所
- ・ 90歳 女性
- ・ 要介護 3
- ・ 認知症あり ・意志疎通可能
- ・ 麻痺は無し
- ・ 移動は車椅子にて自力
- ・ 平成15年よりバルーンカテーテルを留置している



過 去

医師は、
自尿はあるが、膀胱内の残尿が多いためバルーンカテーテルは外す事はできないと診断している

家族は、
以前からバルーンカテーテルの抜去は望んでいない事を意思表示していた

職員は、
必要があるからバルーンカテーテルを留置して抜去できないものと思い込んでいる




試行

環境を変えれば自己抜去をしなくなる

↓

ズボンからスカートに変えた
職員、他入所者と会話をする時間を多くした




結果

依然としてカテーテルの自己抜去が続く

↓

環境を変えただけでは効果がない
Hさんはどう思っているの？




カンファレンス

- ご家族を交えカンファレンスを行なう
- ・Hさんの希望 … カテーテルを外したい
- ・ご家族の希望 … カテーテルを外したくない

ご家族はカテーテルを外す事で尿閉になってしまうことを不安に思っている

↓

ご家族の希望を重視しカテーテルを外さず試行を続ける




引続き試行する

衣類や職員の対応は、前と同様に対応を続ける

↓

カンファレンス後1週間で3回自己抜去がある

Hさんの希望を重視して
問題解決方法を探る



2回目のカンファレンス


職員…Hさんの希望を重視したい

↓


Hさんの希望をご家族に理解してもらう

↓

ご家族から承認を受ける



受診・相談




医師に相談

受診時カテーテルを外す事が可能か相談する

医師からの指示

- ①次回自己抜去した時には、再挿入せず、抜去後1週間で受診すること
- ②尿量尿臭のチェック
- ③残尿がないように腹圧をかけること



自己抜去に備えて

- 看護職が介護職に腹圧のかけ方を指導
- トイレ誘導時間を決める
- 排尿チェック表の準備をする



- 看護職が介護職に腹圧のかけ方を指導



平成22年3月19日

13:00

自己抜去



トイレ誘導開始



排尿チェック表

Annotations on the table:

- トパ○ (circled in red)
- パ◎腹圧◎ (circled in red)

- *バット排尿時はバ
- *トイレ排尿時はト
- *排尿のない時は×
- *排尿を◎○△で記入する

受診

- 残尿測定器で計測した結果
残尿量は50ccであった
- 医師から
このままさらに様子観察を1ヶ月間
続ける様に指示がある



1カ月後の受診結果

医師より
経過は良好。
今後もトイレで排尿を続けて良いと
診断される

現在の状況

現在は、排尿チェック表に基づき
随時トイレ誘導時間を変更し、
対応している



Hさんの変化

- 移乗、移動がスムーズになった
- 以前に比べて表情が穏やかになった
- 活動的になった



ありがとうございました

特別養護老人ホーム 麻機園
介護職 望月優美
介護職 海野隆由

